

都道府県名： 福岡県	市町村名： 直方市
<p>1. 活動名 金剛山麓における里地・里山保全再生に関する取り組み</p>	
<p>2. 取組の背景、目的 平成17年3月に策定した直方市環境保全行動計画における重点プロジェクトの一環として里地・里山の保全再生が採択され、市内上頓野金剛山麓を候補地とし、取り組みを本格化させた。 金剛山麓は以前は開拓団が入居し、里地・里山として長年利用されてきたことから、これを保全・再生しようと本市の環境保全行動計画で重点プロジェクトに採択されてから、市、大学、地元を中心に里地里山に関する懇話会を開催し、今後の金剛山麓におけるさとやまに対する思いや計画など協議してきた。これを発展的に進め、活動を本格化させるため、地元とその関連団体を中心とした金剛山もととり保全協議会を平成22年4月に発足させ、金剛山麓の所有者である市と保全・再生に関する協定書を締結し、協議会が主体となって里地・里山を保全再生していくものである。</p>	
<p>3. 実施主体 金剛山もととり保全協議会</p>	
<p>4. 取組の概要 協議会において年間スケジュールを計画し、里山の間伐や植物の植栽、また以前開拓団が保全していた栗林などを再生し、イベントなどを開催している。 6月 ほたる鑑賞会、菖蒲園、あじさいの手入れや除草及び鑑賞会 8月 キャンプ、あじさいの剪定 9月 遊歩道の整備（竹林伐採）、栗林の手入れ及び栗狩りと収穫祭 10月 竹炭酢の製造、竹炭窯周辺の除草 11月 菖蒲の植替え （通年）竹炭製造、あじさいの管理、里山の見守り活動。菖蒲の管理</p>	
<p>5. 支援事業 市町村としての支援事業は特にない。</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題 市の施策として環境保全行動計画を策定したが、市が主体で行うのではなく地元が中心となって自らの地域を保全していく意識が高いことが大きな成果である。 しかし、活動の原資となる財源が乏しく、今後の活動を行っていくにあたり、事業等の抽出を行っていきながら活動資金を模索していくことが今後の課題である。</p>	

写真添付欄



写真の説明欄

蛍生息地の視察（6月）

保全用地に流れている元取川の一角で蛍の幼虫の成育を協議会で行っている。

写真は協議会役員が直方市長の視察に対し、蛍の生息の説明を行っている場面。

あじさい鑑賞会の親睦会（6月）



あじさいや菖蒲の鑑賞会を終えた後、協議会関係者で親睦会を行っている。親睦会では里山で収穫した山菜などを使用して料理が振舞われている。

写真は、親睦会前に来賓挨拶を行う直方市長とそれを聞く協議会関係者。

秋の里山散策（9月）



秋の実りが成り、紅葉の時期を前に里山の風景を散策する取り組みを行っている。

写真は、栗の収穫を行うため、麓から栗林に向かう写真。

里山収穫祭（10月）



保全用地で栗の収穫や集落での収穫が終了した頃に里山収穫祭を行っている。

地元集落や、関係団体等に呼びかけを行い、地元や里山で収穫した野菜や山菜などを料理して振舞われている。